

脚部圧迫による快適圧および限界圧，とその要因分析

○中橋美幸* 諸岡晴美* 諸岡英雄**

(*富山大, **奈良女大)

目的 ハイサポートパンストは，むくみや疲れの軽減に有用であるとされている。しかしながら，その高い圧強度が不快感につながる場合がある。そこで，圧の快適域と限界域を定量化するために，大腿部，下腿部，足首部を圧迫したときの，圧強度と圧感覚との関係を，本研究において検討した。

方法 女子大学生15名，30～40代の女性事務職員10名の計25名を被験者として用いた。圧迫部位を大腿部，下腿部，足首部の3箇所とし，それぞれ血圧測定用カフを用いて徐々に加圧した。このとき，各段階における圧迫感を被験者に評価点数1から5までの間で点数づけさせ，圧迫感が5と申告されるまで加圧を継続して行った。

結果 どの部位においても，圧迫感評価点数が1～5と増加するにつれて，圧感覚が鈍くなる傾向がみられた。また，圧迫感がちょうどよいと評価された点数3を快適圧，非常に強いと評価された点数5を限界圧としたとき，各部位における快適圧の被験者平均は，大腿部で 6.2gf/cm^2 ，下腿部で 10.2gf/cm^2 ，足首部で 8.6gf/cm^2 であった。限界圧は，それぞれ 11.5gf/cm^2 ， 19.8gf/cm^2 ， 17.8gf/cm^2 であった。すなわち，大腿部の圧感覚が最も鋭敏で，好みの圧強度が小さく，次に足首部，下腿部と大きくなるが，足首部と下腿部との差は小さいことがわかった。しかし，快適圧および限界圧の標準偏差は，各部位ともに大きく，被験者の圧感覚のばらつきが大きいことがわかった。そこで，これらに影響する要因を分析するために，年齢や身体特性などとの関係についても検討を行った。